

## 2019年度以降の国体選手の選考方法について

## 選考方法改正に至る背景

- ・最終選考会以降、九州ブロックや本国体まで安定して高得点を出せる選手を選考する。
- ・公認大会を増やすことにより、県内の選手およびふるさと選手が国体以外の全日本ターゲットやナショナルチーム選考会（オリンピック代表選考会）への申請に使える記録を出すチャンスを増やす。
- ・中学3年生の選手の選考ガイドラインを定める。

成年	少年	
<b>1次選考会（6月上旬）</b> 対象：国体への参加資格を有し、前年度6月～当該年度5月までの全ア連公認大会において、成年男子500点以上、成年女子450点以上の記録を持つ者。 <del>70mラウンド1回</del> <b>⇒70mラウンド2回</b> <b>2回の合計得点で集計</b> し、強化指定選手を含み、男女6名ずつを選考。 ※前年度国体選手であった者は強化指定選手とし、最終選考会への出場権を有する。	高校生 <b>1次選考会（5月下旬）</b> （県総体1・2日） 対象：国体への参加資格を有する選手 70mラウンド2回 2回のうち高い得点で集計し、男女9名ずつを選考 ※強化指定選手は選考から漏れても2次選考への出場権を有する。	<b>中学3年生（新設）</b> <b>対象：国体への参加資格を有し、前年度6月～当該年度5月までの全ア連公認大会において、少年男女ともに550点以上の記録を持つ者。</b>
	<b>2次選考会（6月上旬）</b> （県総体3・4日） 70mラウンド2回 対象：1次選考会通過選手 2回のうち高い得点で集計し、男女6名ずつを選考	
<b>最終選考会（7月上旬）</b> <del>70mラウンド1回</del> <b>⇒70mラウンド2回</b> <b>2回の合計得点で集計</b> し、男女3名ずつを選考。		